

市民と共にづくり育てる条例を目指して

# 市内22カ所で 「市民1000人井戸端会議」を開催

市民が主役 登米市の協働のまちづくり

市では市民との協働による持続的発展を目指し、まちづくりを進めています。この取り組みを具体化するため、平成19年5月に「登米市協働のまちづくり指針」を策定し、市民で構成するまちづくり基本条例(※)策定委員会において、その素案を策定するため検討を重ねています。

条例の素案をつくる過程において、協働のまちづくりに関する市民の関心と理解を深め、実際に市民の声を生かした素案づくりをするため、8月24日から9月14日までの計13日間、市内22カ所で、策定委員会と市が主体となり、「市民1000人井戸端会議」と題した意見交換会を開催しました。今回は、井戸端会議の概要についてお伝えします。



多くの人参加した「市民1000人井戸端会議」

(※) まちづくり

基本条例とは

市民や市民活動団体、企業、議会、行政、その他の関係機関が、お互いの考え方を尊重しながら対等な関係のもとで発言し、さまざまな提案や意見交換を行う「協働のまちづくり」を実現していくためのルールを定めるものです。

【市民1000人井戸端会議開催会場および参加人数】 合計参加者 427人

会場(対象地区)	参加人数	会場(対象地区)	参加人数
東和町 錦織公民館(嵯峨立・錦織)	42	米山町 中津山公民館(中津山)	11
東和町 米谷公民館(米谷)	30	石越町 石越公民館(石越町全域)	24
登米町 総合支所2階(登米町全域)	16	南方町 南方公民館(中央)	7
東和町 米川公民館(米川・鱒淵)	20	南方町 西郷公民館(西郷)	6
中田町 石森ふれあいセンター(石森)	13	南方町 南方老人福祉センター(東郷)	12
中田町 宝江ふれあいセンター(宝江)	38	津山町 津山公民館(横山)	17
中田町 上沼ふれあいセンター(上沼)	23	迫町 新田公民館(新田)	11
中田町 浅水ふれあいセンター(浅水)	32	迫町 森公民館(森)	11
豊里町 豊里公民館(豊里町全域)	35	迫町 迫公民館(佐沼)	20
米山町 米山公民館(西野)	12	津山町 津山老人福祉センター(柳津)	18
米山町 吉田公民館(吉田)	24	迫町 北方公民館(北方)	5



市民1000人井戸端会議に参加して



まちづくり基本条例策定委員会 副委員長 伊藤 寿郎さん

◆ 明るい笑顔と強い声に励まされ 平成17年4月に市町村合併により生まれた「登米市」の

地域の良さを問題点を共に考える

会議は、ワールド・カフェという方式で行い「地域のよいところについて」「10年後の地域について」の3つのテーマについてをグループごとに話し合い、最後に「あなたが実現したいまちづくりについて」グループごとの発表をしました。

参加者からは「活気のあるまちづくりをしたい」「思いやりのある地域にしたい」といった意見が出され、地域の良さや問題点について共通の認識を持つことができました。

参加者アンケートからは、「有意義であった」、「今後協働のまちづくりを進めるためには、地域リーダーや担い手の育成が重要である」との回答がありました。



(指定管理施設) 米山公民館館長 林 忠市さん

◆ 市民1000人井戸端会議に臨んで

今まで、何回か市民対象の懇談会などに臨んできましたが、今回の会議の進め方については感心しました。

今までは、説明者の説明に対し、参加者はその内容に対して要望や質問だけを話し合っただけでしたが、今回は、基本条例策定委員さんがホスト役になり会議を進行しました。初めに策定委員から「登米市協働のまちづくり」への取り組みについて説明を受けてから4、5人のグループになり話し合いが始まりました。

初めは、大きな模造紙とマジックが置いてあるだけで何を話し合ったらいいかわからない状況でしたが、ホスト役から「米山の良いところを書いてみてください」との一言でみんなが気楽になりいろいろな事を話し、書き始めました。結果、模造紙に書き出されたのは、地区コミュニティの必要性、環境、医療などについての内容で、みんなが望んでいる「市民が安心して楽し



班ごとにまとめ意見を発表 (米山町西野地区)

く暮らせるまちづくり」を描いたものとなりました。今後は、この体験を生かし、このようなグループ討議を西野コミュニティでも取り入れ、これからの地域活性化に役立たいと思います。



宝江コミュニティ協議会会長 佐竹 春男さん

◆ 市民と市がパートナーシップを取り合いまちづくりを

今回の井戸端会議には、日ごろまちづくりについて考えていることを話せる良い機会だと思ひ、参加しました。

その際わたしは、登米市が将来にわたり夢多き地域として持続していくためには、市



地域の良い所や課題を書き出す (中田町宝江地区)

民と地域コミュニティ、そして、行政が一体となり魅力あるまちづくりに取り組むことが大切だと感じました。それには「市民みんなが楽しめ、誇りと尊厳を持てるまち」「安心・安全で個性を生かせるまち」「コミュニティを確立できるまち」「人権を尊重し、教育を充実させ、自然、環境と文化を守るまち」これらを基本に、市の地域性と個性を生かした市民が主体の条例を作成しなければなりません。最後に、まちづくりは市民と市がパートナーシップを取合うことにより市民が多くの成果を受けるものと考えており、協働のまちづくりによって、そのような地域社会が形成されることを期待します。

夢があふれる未来の登米市づくりに向けて

今回の市民1000人井戸端会議には、多くの市民の皆さんが参加し、条例素案の策定に向けての登米市まちづくり基本条例策定委員会の取り組み内容や、市民の皆さんが日ごろ考えているまちづくりに対する「思い」や「考え」が数多く出され、(仮称)登米市まちづくり基本条例の策定に向けての大きな一歩となりました。

条例策定に関する今後のスケジュールは、条例策定委員会において今回の井戸端会議で出た多くの意見を分析し、条例素案の策定に向けての作業を進めて行く予定です。

また、市民の皆さんに条例策定委員会での検討状況をお知らせするために、シンポジウムなどの開催も予定しています。

シンポジウムなどの詳細については、決まり次第広報などを使得皆さんにお知らせしていきます。

【問い合わせ】

企画部市民活動支援課 市民協働推進係  
0220(22) 2173